

「トジコボド郡中央病院感染症病棟建設計画」引渡し式

9月5日、相木大使はトジコボド郡中央病院を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」で実施された中央病院感染症病棟建設および医療機材整備プロジェクトの引渡し式に出席しました。

本計画で我が国政府が122,574米ドルをトジコボド郡に供与し、新しい病棟が建設され、医療機材が整備されたことにより、同病院内での医療感染の防止につながるとともに、同郡の住民に対して、より適切な環境で迅速な診療を行うことが可能になりました。

相木大使は引渡し式の挨拶で、保健・医療分野は日・タジキスタンの二国間協力において特に重要な分野の一つであり、この支援がタジキスタンの持続可能な発展につながり、日本とタジキスタンの友好が強化されることを願っていると述べました。これに対して、カドリディン・ファケルゾダ トジコボド郡長からは、日本政府及び日本国民からの支援に対して謝意が表明されました。

タジキスタンでは、1996年から今日まで、草の根・人間の安全保障無償資金協力として合計453件、総額約3,740万ドルに上るプロジェクトが実施されています。

